

新施設整備における令和7年度実施報告と令和8年度予定について

令和7年度の実施報告と令和8年度の予定は以下の通りである。高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（仮称、以下「新施設」）については、令和5年度に策定した基本計画に基づき、国営飛鳥歴史公園と一体的に整備を進めている。

1. 令和7年度の実施報告

① 壁画・石室石材移動法と施工期間の振動対策

○壁画・石室石材の移動ルート及び方法、架台フレーム改修の検討

- ・基本設計と連携し、勾配のない移動ルートを検討
- ・移動方法の検討（美術品専用車両、特殊自動車の活用、専用通路の設置等）

○工事に伴う振動・粉塵等による影響の軽減対策の検討

- ・工事を想定した敷地の振動調査の実施
- ・壁画・石室石材架台下への防振材の設置（図1）
- ・振動測定機器及び振動表示機の設置
- ・粉塵対策（仮設修理施設入口への簡易エアシャワー設置）

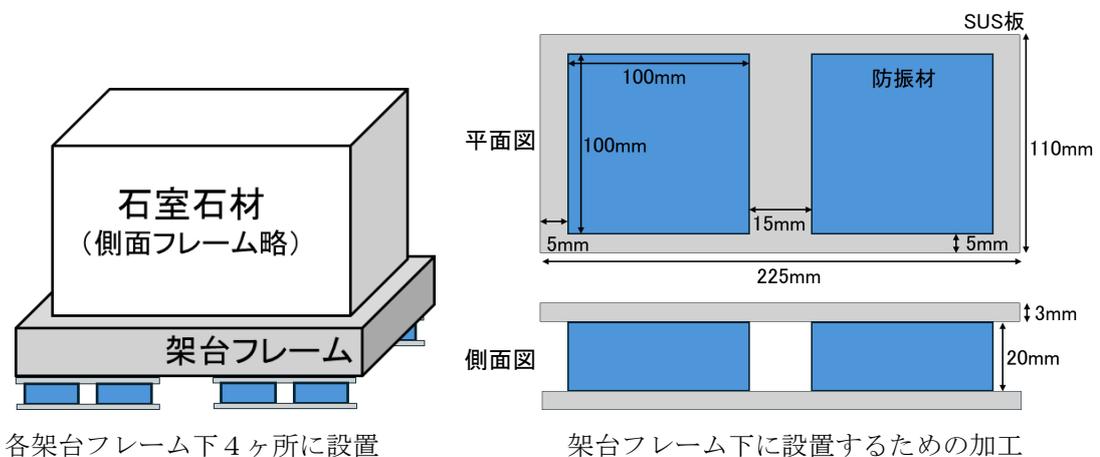


図1 石室石材架台フレームに設置する防振材（イメージ）

※防振材はポリウレタン系ゲル材（ノンブレンシート）で、新幹線「のぞみ号」の床下や、半導体製造装置、画像計測装置等の精密機械における制振実績を有する材料である。

② 展示関連

- WGによる、展示方針（案）のまとめ
- 高松塚古墳関連資料の整理

③ 建築関連

- 基本・実施設計（近畿地方整備局に支出委任、令和9年まで）
- 古墳壁画・石室石材保存管理室（保存管理区画、観覧区画）の検討
 - 【壁画・石室石材への負担を最小限とした案】
 - ・移動を最小限とした点検メンテナンス、観覧が可能
 - ・外気の影響を受けにくい二重構造、恒温恒湿度にて管理
 - ・壁画の保存と観覧を考慮した照明
 - ・災害対策：ガス消火設備（窒素ガス消火、低風速噴射ヘッドの検討）

④ 運営方法の検討

2. 令和8年度予定

① 壁画・石室石材移動法と施工期間中の振動対策

- 壁画・石室石材の移動法の検討、移動想定した振動調査、架台フレーム改修
- 工事に伴う振動・粉塵等による影響の軽減対策
 - ・仮設修理施設への振動伝達を遮断する溝の設置
 - ・粉塵対策（空調機器フィルタ清掃の強化）

② 展示関連

- 設計施工一括発注

③ 建築関連

- 基本・実施設計（近畿地方整備局に支出委任、令和9年まで）

④ 運営方法検討の継続

⑤ 令和8年度以降の国宝高松塚古墳壁画修理作業室の公開について

新施設を国営飛鳥歴史公園館と一体的に整備するうえで、これまでの公開時に施設の一部を利用している国営飛鳥歴史公園館が令和8年4月から利用休止、夏以降は解体工事の予定であることから、国宝高松塚古墳壁画修理作業室の公開は新施設供用開始まで休止することとする。